

# 心のケア充実へ

## AMDA 3カ国での活動報告

している金山夏子さん（二九）大阪大院生Ⅱが出席、被害発生直後からの緊急救援の医療活動に始まり、現在の復興支援ま



での事業内容を説明した。

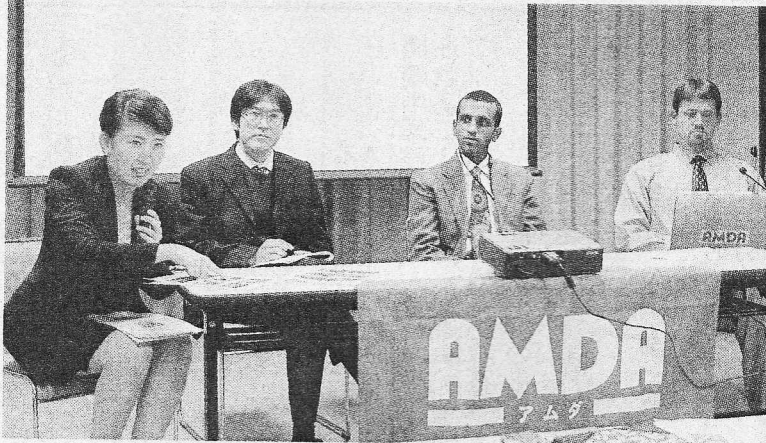
復興支援は、感染症予防の保健衛生教育や自立を担える人材育成など、現地スタッフとも協力し

ながら幅広く行ってきたが、一月からは州内の南アチエ県六地区で子ども教育支援プロジェクトを開始した。アチエ州は、

長い内戦が終結したばかりで、今後は「津波と紛争で傷ついた子どもたちの心のケアと平和の尊さを教える内容を充実させたい」と話した。

同じ津波被災地でもあるスリランカとアフリカのザンビアで活動している責任者も出席。

スリランカでは〇三年から行われている医療和平活動などを報告。同国



AMDAの事業報告会でインドネシア・アチエ州での活動を説明する金山夏子さん（左）ら3カ国の事業責任者

は民族や宗教が複雑に絡み合い、対立する民族の交わりで紛争が続いている。流も行われ、相互理解が進んでいるという。ザンビアからは貧困解消を目的にした農業や生活支援を行うもので、今年六月まで実施予定。活動にた。（斎藤章一朗）

国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市榎津）は一日、岡山市内で記者会見し、一昨年暮れのスマトラ沖地震に伴う津波の最大被災地・インドネシアのアチエ州など3カ国で行っている支援活動の概要を報告した。

アチエ州からは、州都バンタアチエで現地事業統括として中心的に活動